

ロダン館開館10周年記念事業

VIVA! RODIN

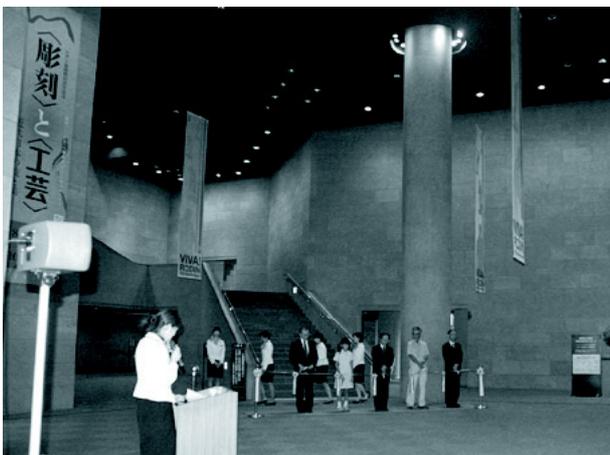
静岡県立美術館のロダン館は、平成16年開館10周年を迎えた。これを記念し、ロダン館10周年記念展「〈彫刻〉と〈工芸〉」を開催するとともに、さらに多くの方にロダン館を訪れていただくように、8月から12月にかけて、様々なプログラムを企画し実施した。

8月10日からは、エントランスホールにバナーを吊るすなど、10周年を盛り上げる演出を行なった。同時に、はじめての試みとし、ロダン館1階の展示室で「19・20世紀フランス絵画と彫刻」と題した特別展示を行ない、ロダンが活躍したパリで生まれた絵画(モネ、シニャックなど)と彫刻を合わせて展示した。

8月24日には、「〈彫刻〉と〈工芸〉」展が開幕。その前日には、ロダンと関連させた教育普及事業(粘土ワークショップなど)参加者にも列席いただきオープニングセレモニーが行なわれた。フランス・ロダン美術館ジャック・ヴィラン館長よりのメッセージが披露され、また、テープカットにはロダン館と同じ10歳になる小学生、ロダン館デッサン会の参加者代表の方にも加わっていただき、ロダン館10周年を祝った。



ロダン館特別展示(展示室2)



彫刻と工芸展テープカット(エントランスホール)

そのほか、ロダンにちなんだ、大人から子供まで、ロダンに接し、そして楽しんでいただける様々な記念事業を行なった。これらの事業の目的は、10周年を機にロダン館を再認識いただき、ひとりでも多くの方に足を運んでいただくことであった。一度もロダン館を訪れたことのない方はもちろんのこと、すでに見たという方にも、再度、ロダン芸術に触れ新しい感動を感じていただくことを期待した。事業全体に“VIVA! RODIN”(ビバ・ロダン)というキャッチフレーズを冠し広報活動を行ない、ロダン館のアピールの機会とした。なお、通常行なわれている彫刻関連プログラムも、8月10日～12月12日実施のプログラムは記念事業として位置付けた。

事業内容は以下のとおりである。

<展示>

1. ロダン館開館と10周年記念

「〈彫刻〉と〈工芸〉—近代日本の技と美」展

平成16年8月24日～10月24日

本館第1～第5展示室

詳細はP.8参照

2. ロダン館 特別展示 (ロダン館展示室2)

(1)「19・20世紀フランスの絵画と彫刻」展

平成16年8月10日～10月30日

(2)「安斎重男：《地獄の門》フォトコラージュ」展

平成16年11月2日～12月12日

展示内容はP.97、98参照

<イベント>

1. 山下残によるダンス・パフォーマンス

「彫刻とダンス」

平成16年8月29日(日)

1回目の公演：13：30～

2回目の公演：15：00～ 場所／ロダン館

参加者：109名

(申込不要 ただし、収蔵品展観覧料が必要。)

山下残は、気鋭の若手ダンサー、振付家である。ダンスとは何かを問いつづけ、言葉で語るダンスなど、従来のダンスの概念からかけ離れた斬新な表現を、全国で展開中。その山下残が、ロダンの彫刻から受けた印象を、ロダン館全体を使って表現する。ロダンの作品名や、それにまつわる言葉を映写しながら、その言葉をもとにしたダンスが繰り広げられた。



2. ミュージアム・コンサート

「フランスのエスプリ：ソプラノとピアノの調べ～サティ、ドビュッシーなど、ロダンと同時代を奏でる～」

平成16年10月23日(土) 14：30～16：00

場 所／ロダン館 参加者／153名

演奏者／塩川嘉奈子氏(ソプラノ)

伊坪淑子氏(ピアノ)

司 会／小林旬氏(静岡音楽館A O I)

協 力／静岡音楽館A O I

(申込不要 ただし、収蔵品展観覧料が必要。)

彫刻家として成功を取めたロダンは、晩年に華やかな社交生活を送った。彼がサロンで交流した人物たちの中には、当時から著名だった音楽家たちも多数含まれている。今年度のミュージアム・コンサートはロダン館開館10周年を記念し、ドビュッシー、フォーレ、サティなど、19世紀から20世紀にかけてパリで活躍し、ロダンが実際に親交した音楽家たちの歌曲とピアノ曲をお楽しみいただき、会場は華やかな雰囲気包まれた。



3. 実技講座

「ロダンに挑戦ー大型彫刻を作ろう」

平成16年9月11日(土)・12日(日)・18日(土)・
19日(日) 4日間連続

場所／実技室

講師／石上和弘氏(彫刻家)

定員：20名(中学生以上・要申込)

詳細についてはP.26参照。

4. 技法セミナー「須田悦弘氏・講演会」

平成16年10月11日(月・祝) 14：00～15：30

場所／実技室(申込不要 聴講無料)

詳細についてはP.23参照。

5. フロアレクチャー

(1)平成16年8月20日(金)・21日(土) 13：30～

「ロダン彫刻のまねをしよう」

講師：堀切正人(当館学芸員)

参加者数：20名、15名

(申込不要 ただし、収蔵品展観覧料が必要。)

ロダン彫刻を見ながら、そのポーズを真似し、体
を使って彫刻を鑑賞することを試みた。

(2)平成16年10月17日(日) 14：30～

「彫刻プロムナード」を歩こう

講師：堀切正人(当館学芸員)

参加者数：40名

(申込不要 聴講無料)

秋日和に、彫刻プロムナードを散策しながら、野
外彫刻の解説を行った。

6. ボランティアによるギャラリートーク

平成16年8月15日、22日、9月4日、18日、19日、
26日、10月2日、10日、16日、24日

(1)14：00～ (2)15：00～

ボランティア・ギャラリー・トークのグループ内
に、特別に「ロダン・トーク」のチームを設置し、
実施した。

7. 子どもたちの粘土開放日

平成16年8月22日、9月26日、10月24日、11月28日、
12月12日 いずれも日曜日

(1)10：15～12：05 (2)13：30～15：20

*詳細はP.31参照。

8. ロダン館デッサン会

平成16年8月27日、28日、9月24日、25日、
10月22日、23日、11月26日、27日、12月3日、4日
10：15～16：15(要申込)

9. 〈彫刻〉と〈工芸〉展 関連イベント

平成16年10月3日(日) 14：00～ 当館講堂

シンポジウム「〈彫刻〉と〈工芸〉」

パネリスト(五十音順)

大熊敏之氏(宮内庁三の丸尚蔵館主任研究官)

田中修二氏(大分大学講師)

山下裕二氏(明治学院大学教授)

平成16年9月5日、12日(日) 14：00～

学芸員によるフロアレクチャー